

せせらぎ Se Seragi



UKITA CLINIC

妊婦健診における 超音波検査について ～胎児超音波スクリーニング検査～

No.107号

発行日：2014年2月5日(日)

発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1
☎077-574-3751 ☎077-574-3792
HP: <http://www.ukita.gr.jp>
✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

私は、浮田クリニック院長の浮田徹也の長男 浮田真吾と申します。滋賀県生まれで滋賀県育ちの滋賀県をこよなく愛している産婦人科医です。まずは、皆さまのご尽力のお陰でこの堅田の地で2013年11月に浮田クリニックを開院することができ院長共に深く感謝致しておりお礼申し上げます。ありがとうございます。

私は、11月の開院以来、毎週金曜日に週1回浮田クリニックで勤務しております。今まで大津赤十字病院で研修医を経て麻酔科、産婦人科医として働いた後、新生児科で勤務致しました。その後、胎児治療等の最先端の産科医療を研修するため大阪府立母子保健総合医療センターで勤務し、現在は合併症妊娠等のハイリスク産科医療に携わるべく京都大学病院医学部附属病院で勤務中です。

趣味は、旅行とゴルフとフットサルです。旅行は、欧米だけでなくケニア、インド、カンボジア等少し辺境の地を訪れ今まで味わった事のない世界や空気に触れるのが好きです。ゴルフの腕はまだまだですが、フットサルは高校の時の仲間と年3回は必ず集まって楽しんでおります。

さて今回のせせらぎでは妊婦健診における超音波検査についてお話ししたいと思います。まず初めに超音波の歴史ですが、1917年に世界で初めて超音波の生物学的作用が報告され、日本に初めて超音波機器が導入されたのは1932年でした。その後研究が進められて1950年に体内組織を識別する超音波診断装置が開発されて産婦人科領域で用いられるようになったのは1953年からでした。1961年から世界で初めて胎児の計測が始まり、その後急速に進歩し産婦人科領域において普及していきました。一般に、生まれた赤ちゃんの約2-5%に何らかの先天疾患がみられると言われてい

ます。最近では、超音波検査機器の精度や検査技術の向上から先天性の病気が胎児期に見つかる事も少しずつ増えてきました。日本においては、超音波検査は、標準的な妊婦健診の医学的検査として、妊娠23週までの間に2回、妊娠24週から35週までの間に1回、36週以降に1回実施することが、厚生労働省母子保健課長通知で示されています。現在のところ分娩予定日と胎児数の確認のために妊娠初期の超音波検査を行い、その後は妊婦健診毎に超音波検査を行って心拍や胎位(頭が下なのか逆子なのか)の確認や推定体重や羊水量等を測定するのが標準的です。このように複数回行うことが当然とされている胎児超音波検査ですが、欧米においては妊娠中期(妊娠20週前後)に先天性の病気(胎児構造異常の有無)を確認するための胎児超音波スクリーニング検査を1回のみ行うことが標準的です。近年では日本でも施設ごとにその内容は異なり1回行っているところもあれば2回、3回行っている施設もあります。また、特別に専門の超音波技師さんが行っているところもあります。このため、当院では毎回の妊婦健診でももちろん超音波検査を行って心拍や胎位の確認、推定体重、羊水量や血流等を測定しますが、それに加えて妊婦さんの希望を聞いた上で妊娠19週～妊娠22週の間で1回の胎児超音波スクリーニング検査を行うようにしております。現段階では通常の妊婦健診の日程



の中で時間を多めに設定して胎児超音波スクリーニング検査を行っておりますが、今後は胎児超音波スクリーニング検査を妊婦健診とは別枠で日を設定するようにする予定です。赤ちゃんの全身を詳しく見るので時間は 20-30 分程度かけてじっくりと検査を行います。また同時に4D超音波でかわいい赤ちゃんの顔なども見る事ができます。ただ、赤ちゃんの向きなどで観察したい部位の評価が行えないこともあります。その様な場合は、また次の妊婦健診の時に再度評価をすることもあります。この胎児超音波スクリーニング検査を受けて頂く一番の目的は、多くのお子さんには病気が見つかることはないの、このことで安心して、今後の妊婦健診を当院で引き続き受けて頂き出産を迎えて頂けるという事です。また、もし生まれてからすぐに治療を必要とする病気がある場合は、提携病院の高次医療機関に紹介させて頂く事で生まれる前から準備をすることができ、生まれて調子が悪くなってから慌てて救急車で搬送されるという事態をできるだけ避けることが出来ます。この様に産科医療において超音波検査は決して欠かすことの出来ないものであり非常に重要な役割を果たしていると言えます。

超音波検査をはじめ今まで主に周産期センターで勤務してきた経験を生かして、これからはこの大好きな滋賀県の地で周産期医療に貢献していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

浮田真吾

つわり(妊娠悪阻)

妊娠 6 週頃から始まり、妊娠 10 週頃にもっとも強くなりその後は急速に症状が軽くなる嘔気・嘔吐などの症状を言います。この症状がさらに強くなって食べものや水分がほとんど口からはいらず脱水症状を呈することを「妊娠悪阻」と言います。つわりは全妊婦の 50 ～ 80% 程度に見られると言われておりますが、妊娠悪阻になる人は 0.1 ～ 0.5% と言われております。

水分もとれなかったり体重が急に減ったり尿が濃くなったり回数が減ったりする場合は危険サインですので早めに受診するようにして下さい。ビタミン入りの点滴や漢方薬で治療を行います。



妊娠高血圧症候群

妊娠高血圧症候群は、以前は妊娠中毒症と言われていた妊娠中に起こる合併症の一つです。全妊婦の 20 人に 1 人に起こるとされており、妊娠 20 週から分娩後 12 週までの間に高血圧(140/90mmHg 以上)やたんぱく尿が認められる病態です。妊娠 32 週以降に起こる事が多いと言われておりますが、妊娠 32 週以前に発症した場合には「早発型」とされ注意が必要です。リスク因子としては、高年齢、肥満、合併症(高血圧、糖尿病等)のある妊婦さん、前回妊娠高血圧症候群の既往のある妊婦さん、多胎妊娠、初産婦等が挙げられます。まれにけいれん(子癇発作)、肝機能障害、腎機能障害、常位胎盤早期剥離、子宮内胎児発育遅延といった合併症を生じる事があるため、診断された場合には治療が必要となります。

当院では西洋薬と漢方薬で妊娠高血圧症候群の気配があれば早期より治療を行い予防に心がけておりますが、重症の場合には高次医療機関での治療が必要となります。





お祝いディナー（専用レストランでフルコース） 食事（和食 洋食） 季節により、多彩なメニューをご用意しています。



ヨガ



エステ（入院中1回無料）

分娩の立会いについて

当院では分娩中に旦那さんだけでなくご家族の立会いもして頂けます。また、待ち会い室にいてもiPadで出生直後の赤ちゃんの様子をみて頂けます。帝王切開の場合でも立会いして頂けます。

マタニティーヨガ

マタニティーヨガのインストラクターによる教室です。第一回は11月28日（木）に実施され、4階のお部屋で景色も楽しみながらご参加頂きました。当院分娩の方：1000円、他院分娩の方：1500円

妊婦健診 携帯またはパソコン予約

この度、当クリニックではWEB（携帯・PC）予約システムを導入致しました。午前診・午後診の「順番取り」となります。（時間指定の予約ではありません。）

「妊婦検診」のみ予約をお取りいただけます。

妊婦健診WEB予約受付時間

午前9：15～午後12：15

午後4：45～午後6：45

ご来院窓口受付時間

午前8：30～午後12：30

午後4：30～午後7：00

※受付時間内であればWEB予約終了後でも来院窓口受付をさせていただきます。予約の方が多く場合は待ち時間が長くなる事があります。※予約の方は余裕を持ってご来院ください。



漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

提携病院との密な連携診療

- 当院は、
- ・大津赤十字病院 産婦人科、新生児科
 - ・大津市民病院 産婦人科
 - ・滋賀医科大学付属病院
 - ・京都大学医学部付属病院

の病院と提携していますので、妊婦さんや赤ちゃんに何かあればすぐに連携して診察に当たりますのでご安心ください。



アトピー軟膏健康食品（グルコサミン、コンドロイチン、のどアメ）

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・葉酸（鉄）・霊芝・サメ軟骨・快步楽
- ・のどアメ（ハーブ イチゴ）

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ、BCG、三種混合（DPT）、麻しん・風しん（MR）、日本脳炎、水ぼうそう、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib（インフルエンザ菌b型）、肺炎球菌ワクチン（小児用 プレベナー）（高齢者）、その他

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

従業員募集

看護師、助産師（常勤、パート）、清掃業務従業員。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。

一緒にお仕事しませんか？



外来診察時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~12:30	○	○	○	○	○	○	—
14:00 ~15:00	産後健診 予防接種	—	産後健診 予防接種	—	—	—	—
16:30 ~19:00	○	—	○	—	○	—	—

京大病院医師（金曜日）：産科専門の京大病院医師が毎週金曜日に妊婦健診を担当。

京大病院女性医師（土曜日）：京大病院の女性医師が毎週土曜日に女医外来を担当。

マタニティクラスのご案内

場所：当院 4 階 多目的ルーム

申込方法：申込ノートでご予約をお願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。（申込ノートにお名前を記入をお願いします。）
マタニティクラスでは院内冊子の「HELLO BABY」にそって、お話をすすめていきます。
ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。
参加時には「HELLO BABY」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ
14:30-16:00

2月20日(木)

3月20日(木)

前期-マタニティクラス
13:30-15:30

2月13日(木)

後期-マタニティクラス
13:30-15:30

2月27日(木)

豆知識

これから偶数号のせせらぎでは産科に関する内容を連載していく予定です。

お産の歴史①～産科医療の始まり～

縄文時代の土偶には多産豊饒を祈ったものと思われるが、医療については古事記等に神話として出産についての言い伝えも記されています。その後、仏教が百済から伝わり病氣は神の祟りであると信じられるようになり仏僧が医療に携わるようになっていきました。

聖徳太子は仏教への信仰が深く、大化の改新から大宝律令、さらに養老律令のなかの医疾令になって分娩に関する一項が記されており出産の介助を行ったとされている女医、さらに女医を養成する女医博士についての記載がありこれが分娩に関する記載の本邦最古のものと言われています。

分娩予約

妊娠 20 週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩・入院予約申込書**が必要です。予約された方には、**入院誓約書、直接支払い制度合意書**をお渡しします。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・ トップページ（お知らせの欄、診療日程カレンダー）
- ・ 産科と婦人科のページ（入院、食事、各種教室、指導）
（癌検診、不妊症、更年期障害）
- ・ 漢方治療のページ（漢方治療）
- ・ 各検診と予防接種のページ（健診、ブライダルチェック、予防接種）
- ・ 当院の施設案内、当院への交通（車、JR）

産後相談 母乳相談（助産師）

産後相談と母乳相談（有料）（乳房マッサージ）をしています。
午後 2 時～2 時 30 分、2 時 30 分～3 時、3 時～3 時 30 分。
日程はホームページでお確かめください。（電話予約可）

産後健診 ベビー健診

産後健診と 1 ヶ月、2 ヶ月、3 ヶ月健診をしています。
日時：毎週月、水曜日 午後 2 時～3 時（有料）（予約制）

分娩生活

正常分娩の場合、入院日を含め、初産婦の方は 6 日間、経産婦の方は 5 日間です。当院では立会い分娩を推奨しています（帝王切開を含む）。調乳及び飲み水は還元水を使用しています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を付けています。妊娠 23～25 週（母体と赤ちゃんの状態をチェックします）に 1 度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠 34 週から受けてください。

入院食（手作り）

厨房スタッフの作る心こもった手作り料理です。旬の素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。パンも焼き立てを用意します。退院前日、当院 4 階のレストランでディナーをお楽しみください。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています（妊娠 16～22 週）。詳細は受付でお聞きください。